



極上の舞台鑑賞が、
日常の楽しみに

Hangmen 『ハングメン』
The Threepenny Opera 『三文オペラ』
The Deep Blue Sea 『深く青い海』
No Man's Land 『誰もいない国』
As You Like It 『お気に召すまま』
One Man, Two Guvnors 『一人の男と二人の主人』
Hedda Gabler 『ヘッダ・ガーブレル』

**National
Theatre
Live**

ナショナル・
シアター・
ライブ 2017

『ハングメン』

4.14 日

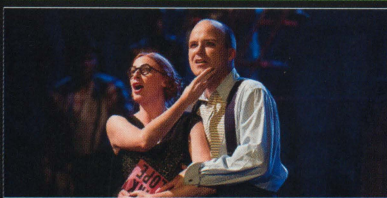


上演時間：約165分／初演劇場：ロイヤル・コート劇場／作：マーティン・マクドナー（ローレンス・オリヴィエ賞受賞劇作家）／演出：マシュー・ダンスター（『1984』脚戯・演出）／出演：デブッド・モリッシー（『ウォーキング・デッド』）、アンディ・ナイマン（『アサシンス』）、ジョニー・フリン（『フルタクリンの恋人たち』）

イギリス北西部の街オールドム。死刑執行人でパブ経営者ハリーは、街の有名な死刑執行制度が廃止になるというニュースが出たある日、ハリーの反応に関心がある記者たちがパブにやってくるが、ハリーは「ビューティ・クイン・オブ・リバー」(96年)などで知られる鬼才マーティン・マクドナーによる最新戯曲。彼の書き下ろしは2005年にブロードウェイで初演された『スポークマンの左手』以来、ロンドンでは2003年にナショナル・シアターで初演された『ピローマン』以来となり、希望の新作といえる。2016年ローレンス・オリヴィエ賞最優秀俳優賞受賞作。

『三文オペラ』

6.16 日



上演時間：約200分／初演劇場：ナショナル・シアター／作：ベルトルト・ブレヒト／脚色：サイモン・スタイヴス（『坂中にて起こった奇妙な事件』）／演出：ルーファス・ノリス（『ロンドン・ロード』、『エヴリマン』）／出演：ロリー・キニア（『ハムレット』、『オセロ』）、ロザリー・クレイグ（『お気に召すまま』）、ヘイドン・グウィン（『ビリー・エリオット』、『ザ・オーディエンス』）

救済を目前に控え、街中が沸き上がるロンドン。そんな中、乞食の格好でピーチム夫妻は一人娘のボーリーが貧民街の頭、メッケー・メッケー（メック・ザ・ナイフ）に見初められたことを知り、警察を利用してメッケーを弄ろうと画策するが、資本主義社会の矛盾を痛切に皮肉ったベルトルト・ブレヒトの代表作を、ナショナル・シアター芸術監督ルーファス・ノリスが演出。主演のロリー・キニアは、『当世風の男』(07年)と『オセロ』(13年)でそれぞれローレンス・オリヴィエ賞の最優秀助演俳優賞と最優秀主演男優賞を受賞した実力派。

『深く 青い海』

7.7 日



上演時間：約180分／初演劇場：ナショナル・シアター／作：テレンス・ラティガン／演出：キャリル・クラックネル（『人形の家』、『メディア』）／出演：ヘレン・マックロー（『ハリー・ポッターと死の秘宝』）、トム・パーク（『マスケティアーズ／三銃士』）

第二次世界大戦後のロンドン。何となく夫と暮らしていたヘスターだったが、若い元空軍パイロットのフレディに心を奪われ、駆け落ちしてしまう。しかし、フレディの愛に物足りなさを感じた彼女は、20世紀イギリスを代表する劇作家テレンス・ラティガンの1952年初演作。過去に二度映画化され、ヴィヴィアン・リーとレイチェル・ワイズといった実力派女優がヒロイン・ヘスター役を演じてきた。今回同役に挑むのは、ナショナル・シアターによる舞台『メディア』(14年)での熱演が記憶に新しいヘレン・マックロー。

『誰もいない国』

9.22 日



上演時間：約150分／初演劇場：NY・コート劇場／作：ハロルド・ピンター（ノーベル文学賞受賞者）／演出：ジョーン・マウイス（『ベント』）／出演：アイアン・マッケラン、パトリック・スチュワート、オーウェン・ティール（『ゲーム・オブ・スローンズ』）、ダミアン・モロー（『ハード・プロブレム』）

ある夏の午後、パブで飲んでいた年老いた作家ハーストとスプーナーは話が通じない会話が続く。事実と空想の境が分からなくなっていく。やがてパブゲームと化した彼らのやり取りは、二人の若者の登場により複雑になっていく。ノーベル文学賞に輝いた劇作家ハロルド・ピンターの1975年初演作。過去の背景や現在の関係性、力関係の分からない男たちの会話劇で、『イギリスの宝』ともいべき名優アイアン・マッケランとパトリック・スチュワートが脱演。超豪華な二人の演技対決は必見だ。

『お気に召すまま』

10.13 日



上演時間：約200分／初演劇場：ナショナル・シアター／作：ウィリアム・シェイクスピア／演出：ロリー・フインレイ（『宝島』）／演出：ロザリー・クレイグ（『三文オペラ』）、ジョー・バスター（『炎のランナー』）、パッチー・フェラン（『宝島』）

弟に領地を奪われ、アードンの森で暮らす元貴族。その娘ロザリンドもまた、現侯爵である伯父に追放され、従妹シーリアとともにアードンの森へ。ロザリンドに恋をした一オールドも訳あってアードンの森へ行き、そこで身を守るために男として生きるロザリンドと出会う。男装した娘と騎士の恋の駆け引きを牧歌的雰囲気で描いた、シェイクスピアの人気喜劇『三文オペラ』でロリー・キニアの相手役を務めたロザリー・クレイグが、「男装の麗人」ロザリンドに扮する。森を斬新に表現したリジー・クラチヤンの舞台美術にも注目！

『一人の男と二人の主人』

11.10 日



上演時間：約195分／初演劇場：ナショナル・シアター／作：リチャード・ピーン（『グレイト・ブリテン』）／演出：ニコラス・ハイドナー（『ヒストリー・ボーイズ』）／出演：ジェイムズ・コーデン、トム・エデン

1960年、イギリス南東部の街。主人公フランシスは地元のギャングロスコーと、悪名高い犯罪者スタンリーの二人に雇われているが、その事実を主人たちは知らない。二人が鉢合わせないように右往左往するフランシスだが、伊の作家カルロ・ゴールドニの戯曲がもとの地獄絵図のドタバタ・コメディ。2011年初演で大好評を博し、ウェストエンドでロングランを記録。ブロードウェイでは、2012年のトニー賞7部門（主演男優賞・助演男優賞・トム・エデン）、演出賞・楽曲賞・装置デザイン賞・衣裳デザイン賞・音響デザイン賞）で候補に、ジェイムズ・コーデンが見事最優秀主演男優賞を獲得した。

『ヘッド・ガブレル』

12.1 日



上演時間：約120分／初演劇場：ナショナル・シアター／作：ヘンリック・イブセン（『人形の家』）／脚色：パトリック・マーバー（『ディーラーズ・チヨイス』、『クローザー』）／演出：イヴォ・ヴァン・ホーヴェ（『種から種へ』、『ラザルス』）／出演：ルース・ウィルソン（『寂寥という名の鳥』）、レイ・スパー（『種から種へ』）

故ガブリエル将軍の娘ヘッドは、美しく情熱的な女性。自由奔放な彼女は、研究者のチスマンとの結婚生活に窮屈を感じ、かつての恋人レーヴボグから自分を取り巻く人々の充実した生活への羨望と嫉妬から、ある行動に出る。NTLive「種からの眺め」で、世界に大きな衝撃を与えたイヴォ・ヴァン・ホーヴェがイブセン劇を演出。過去にイングリッド・バーグマンやイザベル・エペール、マギー・スミス、ケイト・ブランシェットら名だたる女優たちが演じてきたヒロイン・ヘッド役を、過去に二度ローレンス・オリヴィエ賞に輝く実力派ルース・ウィルソンが演じる。

観る前までは、「趣味：イギリス旅行・観劇・映画鑑賞」が
観た後からは、「趣味：ナショナル・シアター・ライブ」に変わる
あなたの欲求、すべてを満たす最高のエンターテインメント。

National Theatre Live

ナショナル・シアター・ライブ 2017

ARTS COUNCIL ENGLAND
BY EXPERIENCE HD
カルチャヴァル

TOHO シネマズ 日本橋ほか全国順次公開！

TOHO シネマズ 六本木ヒルズ	TOHO シネマズ 川崎	TOHO シネマズ 名古屋ベイシティ
TOHO シネマズ 梅田	TOHO シネマズ 西宮 OS	TOHO シネマズ 二条

料金 一般：3,000円
学生：2,500円(学生証の提示が必要になります)